

検査内容変更のお知らせ

謹啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、このたび下記項目につきまして、検査内容を変更させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。
先生方にはご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

- 甲状腺刺激ホルモン(TSH)
- F-T₄(遊離サイロキシン)
- F-T₃(遊離トリヨードサイロニン)

変更日:2017年3月31日(金)受付分より

裏面に続きます。

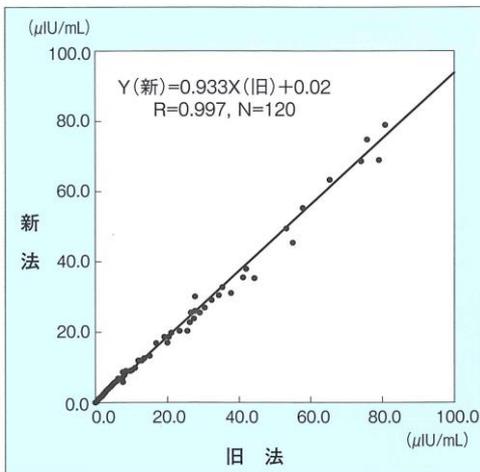
◆ 甲状腺刺激ホルモン(TSH)

従来の測定試薬を高感度試薬に変更させていただきます。

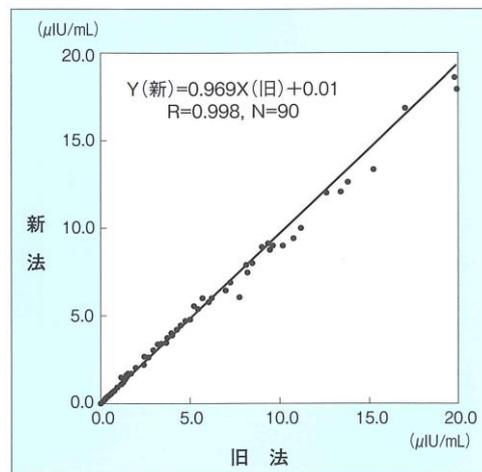
なお、この変更に伴い、検体必要量、基準値、報告範囲を変更させていただきます。

	新	従来
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.5mL	0.4mL
所要日数	3～6日	同左
検査方法	CLIA法	同左
基準値	0.350～4.94	0.390～4.01
報告単位	μ IU/mL	同左
報告範囲	0.003未満～500以上	0.008未満～750以上

全体



低域値



LSI検討資料

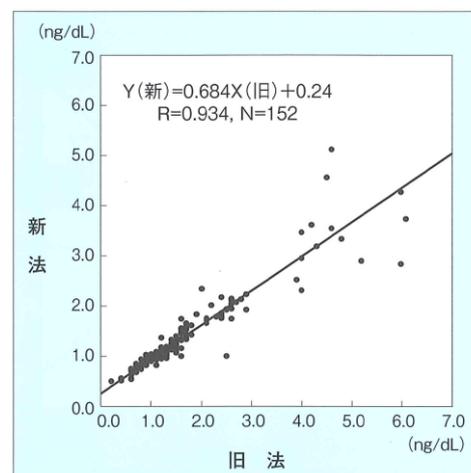
【参考文献】

玉井一, 他: 医学と薬学 42, 609-622, 1999.

▶ F-T₄(遊離サイロキシシン)

従来の測定試薬を自己抗体の影響が少ない試薬に変更させていただきます。
 なお、この変更に伴い、基準値、報告範囲を変更させていただきます。

	新	従来
検査材料	血清	同左
所要日数	3～6日	同左
検査方法	CLIA法	同左
基準値	0.70～1.48	1.0～1.7
報告単位	ng/dL	同左
報告範囲	0.40未満～6.00以上	0.1未満～12.0以上
報告桁数	小数第2位	小数第1位



LSI検討資料

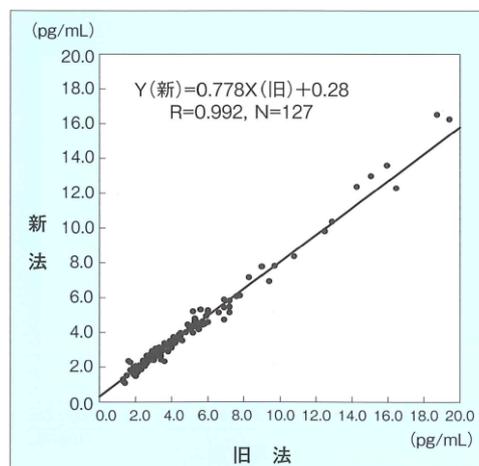
【参考文献】

玉井一, 他: 医学と薬学 42, 609-622, 1999.

◆ F-T₃(遊離トリヨードサイロニン)

従来の測定試薬を自己抗体の影響が少ない試薬に変更させていただきます。
 なお、この変更に伴い、基準値、報告範囲を変更させていただきます。

	新	従来
検査材料	血清	同左
所要日数	3～6日	同左
検査方法	CLIA法	同左
基準値	1.71～3.71	2.1～4.1
報告単位	pg/mL	同左
報告範囲	1.00未満～30.0以上	0.3未満～20.0以上
報告桁数	小数第2位	小数第1位



LSI検討資料

【参考文献】

玉井一, 他: 医学と薬学 42, 609-622, 1999.